

令和7年度 第1回公立鳥取環境大学経営審議会 議事要旨

- 日 時 令和7年6月26日(木) 10:00～11:32
- 場 所 本部講義棟3階 大会議室(対面+オンライン会議)
- 出席者 小林朋道委員、寺口嘉昭委員、中山実郎委員、田中洋介委員、若原道昭委員、齋尾安広委員、児嶋祥悟委員、山田修平委員、福嶋明子委員
[9名/10名]
山崎安造監事、北野彬子監事[2名/2名]
- 欠席者 澤 耕司委員

【議事】

1 前回議事要旨の確認

原案のとおり承認された。

2 審議事項

(1) 第3期中期目標期間にかかる中期計画進捗管理について

事務局から第3期中期目標期間にかかる中期計画進捗管理について説明があり、案のとおり承認された。

〈主な意見等〉

- ・ 取組16「資格取得の支援等の就職支援」とは、具体的にはどのような物なのか。
- 公認会計士、簿記分野の関係を目指す学生が一定数いるので、そちらの学生が1つと技術系の公務員で直接的な資格ではないが、試験を要する就職先という事で水産、農業、林業といった環境学部が中心になってくるが、そういった公務員の中でも技術職を目指す学生も一定数いますので、そういった学生への支援というところで公務員の行政職を目指す学生に対して講座を安く受けられる制度は従前からあったが、技術分野の勉強を自分たちで集まって行くとともに教員から指導を受けるというのをフレームで考えて制度としたものです。あと大学の事務局で想定しているのは情報処理の資格を取るために学生が集まってというのが出てくるのではないかなと予想しています。また英語についても出てくるのかなと思っているが、現段階では未だ手が挙がっていない。
- ・ それは学生が自主学習をするのを支援するという形なのか。
- そのとおり。そもそもの趣旨は、学習会という制度を設けて「学生たちが自主的に自分たちのこれだけ人数が集まったので学校の支援をお願いします」という事を申請すれば、実質的にグループ学習を促すという事で発足した。まずは公認会計士・簿記と技術系公務員というのがあがってきた。ITパスポートを取得したいというグループとTOEICをしたいという英語関係のグループが動いてくるだろうと思っている。今後の広がりというものも促していきたい。エールの意味も込めて組織的な取り組みにしたいのと学生はどこかでそういう活動が行われていると聞くと「ああそうなんだ」と連動してそういう雰囲気になっていくという事もあり判るような形で組織だってやって、支援していくという意味合いがあって行っている。
- ・ 取組39に関連して環境大学では事務職員を新規雇用する場合は、どのような形態で採用しているのか。
- 新卒で採用する場合と即戦力としてあるこういう分野の方に来ていただきたいと中途を含めて公募で募集して採用試験を行っている。嘱託職員から正職員にという特別な道は無く嘱託の方であっても採用試験に応募していただいている。
- ・ よく頑張っている大学の特徴は事務職員が頑張っているので、事務職員をどのように採用してい

るのかなと思ってお尋ねした。

- 教職協働という事が中期目標の中にもあり、教員と職員が同じ方向を向いているという事が非常に大事だと思っている。なかなか難しい点もありそういう方向も含めて改善していきたい。
- ・ 最近鳥取で公認会計士に合格した人がいると聞いているがご存じですか。鳥取出身で県外の大学に進学している学生です。情報提供です。
- 情報を持っていませんでした、ありがとうございます。本学の学生は、1 次試験は通ったけれど最終には至らなかった。最終合格過去 2 名合格しているのが現在の実績という事になる。毎年出るように努力を続けていきますのでご支援よろしくお願いします。
- ・ 少し遅れているという項目が 4 つあるという事で、そのうち主要なものとして県内就職率と県内入学率はどちらも 30%と高い目標の中で、これから頑張っていくことだと思います。定住機構としても県内就職の関係は非常に力を入れているところであり環境大学ともいろいろとさせていただいているところである。その中で今年度から毎週月曜日に職員を派遣して色々と学生と面談をしている。実績を聞いたところ「4 コマあるが 4 コマともほぼ埋まっている。」と非常にいい取り組みかなと思っている。今年度、県からの受託を受けて各大学、高校生を巻き込んでいろんな県内企業とのマッチングをする場を作りたいと予算要求していて当初 8 月を予定していたが最終的に 12 月に開催予定である。来年度に向けてもしっかりと検討していて、しっかりと大学と連携しながら参加人数が増えるような方策で行こうという前段で今年度は 12 月に企業紹介フェアと併せて同時開催をするように県、大学と打合せをやっている。出来れば来年度に向かったいい形が出来れば、県内就職のアップに繋がっていくのではないかな。県内入学率についても県内の高校生はどうしても県内大学のキャパが無いので、県外へ出てしまいます。その後帰ってこないという事になるので、そもそも出ていく前に県内の大学があるわけだからこちらに入っていれば、引き続き県内に就職する確率も高くなる、だから県内入学率を高くする、非常に良い事だと思っている。先ほど言った交流フェスについても高校生、保護者もターゲットにして、たとえ進学校で県外に出る子がいてもその子たちも対象にして県内にも優秀な企業が沢山あるよと言うのを高校生から保護者、学校の先生まで含めたところに知っていただかないと、親御さんから「鳥取県なんて良い企業無いよ」とずっと言われていたら子供たちは出ていきますからその見直しを交流フェスでやっていきたいなと思っている。当初の 8 月開催が出来なくなったが、8 月 8 日に倉吉で「とっとりジョブ・チャレ」という別の形で大学生も高校生も保護者も含めて県内企業の体験型の催しを計画している。いろんな体験をしながら県内にこんな企業あるよと。なるべく県内企業を知っていただきたいと考えている。
- 保護者の認識も時代とともに変化して県内にも優秀な、魅力的なベンチャー企業も含めて増えてきているという状況も保護者の知識をリセットというかそういう働きかけは非常に大事だと思う。県内の学生も県内で育ってきたとはいえ話をしてみると高校と家との行き来が中心となっているので、意外と知らない。ですからどんな企業があるかとかという目で自分たちの生活を見ていないので、仕事という事を県内も意外と知らないという事も解ったので、今言われた取組というのは非常に重要な取り組みですので、出来る限りの協力はさせていただきたい。
- ・ 昨年からは会社のインスタを始めたところ県外からの問い合わせが増えた。自分のところは製造業なので 10 年前から 3S 活動、整理、清掃、整頓を始めた。今振り返ってみるとこれをもし学生時代に学校で学んできた学生がいたら、すごく即戦力だなと思う。整理整頓というか改善活動という認識が有る子と無い子では入ってから大きく差がつく。改善活動をして何が良かったかという自分のところは結果に対してそれを分析する力が無いので、ちょっと弱いなと思いながらしているが、3 年ほど前までは自分のところは「品質はナンバーワンだけど納期が守れない、納期が遅い」これは仕事が沢山ある時は出せるけど仕事が少ない時はまず最初に切っていく事になるからとにかく納期をらせるように頑張ってくれと言われた。それをどうしたらいいのか悩んでいた。一昨年あたりから多能工かという事をして今まで一人が 1 台だったのが 3 台 4 台とどれでも

出来るようにしたことが原因だったのか、未だ「これ」というのがつかめていないが、そういうことが原因で今残業しなくても売り上げが3年前の売り上げより増えているのに残業時間が減っている。何でだろう？その分析がきっちり出来ないのが情けないが、もしそういう事の分析が出来る学生がいて、自分のところに入っていただいて、「こうじゃないですか」「こういう事じゃないですか」というヒントのようなことを与えてもらったらいいなあとそういう事での企業とのタイアップというのも有るのかなあと感じた。

- まさに鳥取県のあまり知られていない優れた企業とのそういう例だと思います。インスタを見る人が見ればそういう良さが伝わるというんですか、そういうところをしっかりと見られて「これはすごい」という意識を持たれたと推察できる。まさにある意味ベンチャー的なところで、学生がそういうところなんですよね、そういう取り組みをしていると、そういうところでやってみませんかというのが学生に伝わる、響くっていうかそういう場になればいいなと思う。私も一度お邪魔した際に、そういったイノベーションというか、そういう点に非常に感心したんですけどもそういう点をもっと出してUターンもあるでしょうしIターンもあるでしょういろんなケースもあるので定住のきっかけ、糸口がそういうところにもあるのかなと聞かせていただいた。本学でもそういうことを意識して考えていきたいと思います。

(2) 令和6年度決算について

事務局から、令和6年度決算について報告があった。

〈主な意見等〉

- ・ 決算推移の中の従来自己収入であったものを補助金等収入に変わったのはなぜか。どういう仕組みになったのか。
- 令和5年度までは高等教育修学支援に係る資金相当分が自己収入に計上されていた。しかしこの収入は設置者から補助金として助成され、実際に授業料として学生から徴収されるわけではないから、補助金収入のみに計上して、自己収入には計上しないよう監査法人から指摘を受けて修正したものです。

3 報告事項

(1) (1) 債務負担行為の設定及び監事に回付する文書について

事務局から債務負担行為の設定及び監事に回付する文書について報告があった。

(2) 近況報告

事務局から近況報告があった。

4 その他

5 閉 会